

生きる場所をつくる。

ルン村のポーさんは14歳の時、地雷を踏んだ。

「森の木を伐採している時でした」

ポーさんの右脚は義足だ。

周りにも被害に遭った人は多くいたという。

コマツは2008年以降、

「日本地雷処理を支援する会(JMAS)」と協働で、

カンボジアとラオスでの

地雷除去支援活動をおこなっている。

本業で培った経験と技術を駆使して、

ブルドーザーや油圧ショベルをベースに

対人地雷除去機を開発。

地雷を処理した跡地では建機を転用して、

農地の開発も支援している。

ICT技術搭載のブルドーザーで農地を均平化すると、

田んぼの収穫量は約2倍になった。

「昔は地雷があり、農作業も怖かったが、今はもう安心です。

土地が開発されて暮らしも安定した」

ポーさんには三人の子供がいて、

一番下の子は現在コマツが建設を支援した小学校に通っている。

子供たちには勉強することでより良い仕事についてほしいと語る。

地雷が埋められた危険な土地から

安心して暮らせる土地へ。

その土地に農地や道路や小学校をつくり、

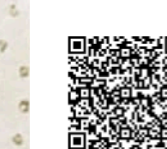
希望をもって暮らせる場所へ。

建設機械で、人が生きる場所をつくる。

コマツです。

ICTブルドーザー D65PX-15E0

地雷を除去し、農地として整備し、収穫の効率と量を上げる。
コマツは建設機械で復興支援を進めていきます。



私の生きる場所ができるまで
カンボジア復興支援サイト

KOMATSU
Creating value together